

令和4年度 公募推薦入試 小論文試験問題 (800字以内 制限時間 60分)

《人間心理学科》

【1期】

あなたが大学で学びたい「心理学」の分野や内容を述べたうえで、そこで得られた知識を将来の人生や職業にどのように生かしていきたいかを具体的に説明しなさい。

【2期】

「心理学」という学問はどのような点で社会に貢献していると思いますか。具体的に述べなさい。そのうえで、あなたが大学で心理学を学びたい理由を説明しなさい。

《現代社会学科》

【1期】

新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、「新しい生活様式」のあり方が問われています。そこで「新しい生活様式」の実践例とその影響について、あなたの考えを述べなさい。

その際、「コロナ疲れ」と「自粛」という言葉について、その内容を説明したうえで用いること。

【2期】

農林水産省の発表によれば、2020年度の日本の食料自給率は、比較できるデータのある1965年以降で最低だったとのことです。その背景に当たることと直接的な原因に当たることを整理した上で、自給率が低いことの問題点を指摘してください。また、自給率を上げる対策として、誰がどのようなことをしていけば良いのか、考えるところを述べなさい。

《経営社会学科》

【1期】

2030年代半ばまでに国内で売れる新車はハイブリッド車や電気自動車(EV)などすべて電動車にする。そんな目標を政府が年内にも打ち出す見通しになった。

地球温暖化の防止に向け、ガソリン車の縮小は世界の流れだ。英国のように2030年代にハイブリッド車を含むすべてのエンジン搭載車の販売を禁止する国や地域もあるが、日本はハイブリッド車を容認する方向だ。環境重視派からは批判も予想されるが、EVのコストの高さなどを考えれば、現実的な選択といえる。

ただ、現在の案であっても自動車産業に課されたハードルは低くない。小型で廉価さが売り物の軽自動車などではコストのかさむ電動化は進んでいない。

自動車産業の競争力維持も課題だ。日本車はエンジン技術やハイブリッド技術に優れ、世界市場をリードしてきた。だが、EVについては出遅れ気味で、商品・技術展開やブランド形成などで米テスラなどに後れを取っている。

巻き返しに向けて、電池などの要素技術の強化やソフトウェア主導型の走行・安全性能の向上など、従来とは異なる技術や能力が必要になる。そのためには固定化された系列に縛られず、外部の人材や技術を積極的に取り込むオープンな姿勢が欠かせない。

とりわけ大きな試練にさらされるのは、エンジン依存度の高い部品メーカーだろう。EV 全盛の時代となれば、事業存続が危ぶまれるかも知れない。生き残りに向けた業界再編や事業構成の組み替えが待ったなしの課題だ。

日本の自動車産業が将来的に生き残る道について、あなたの意見を述べなさい。

まず、どうあるべきかという結論を書き、次にその結論を導き出すに至った理由を具体的な事例を組み入れて論述し、最後にもう一度結論を書いてまとめること。

## 【2期】

個人も企業もお金を手元にため込む傾向が強まっている。コロナ後を見据え、経済を活性化するためにお金の巡りをよくする知恵をしばるときだ。

日本銀行の資金循環統計（速報）によれば、2021年3月末の家計（個人）の金融資産は前年比7.1%増で2000兆円に迫り、過去最高となった。株価の値上がりで株式と投資信託の評価益が増えたとはいえ、54%は現金・預金が占めた。日本の個人マネーの安全志向や、現預金への偏りは相変わらず強い。ここで、直視すべき問題は、個人のお金が企業の成長や技術開発を後押しする投資に、十分に回らない点だ。日本経済が活力を取り戻すためには、この構図を変える必要がある。

資産形成の観点から考えても、老後の生活資金を補完する目的で株式などにより余裕資金を運用するのは、理にかなっている。個人マネーを動かすうえで、教育は重要な役割を果たす。今後は学校教育の場でもお金について学ぶ機会が増えるという。

企業も手元にお金をおく傾向が強い。変化の激しい時代に、万が一に備えたい経営者の心情は分かる。しかし、将来を見据えた投資が必要なことは、個人も企業も同じだ。デジタル化や脱炭素、労働環境の改善など、企業がお金を振り向けるべき分野は数多い。

長期の低成長とデフレを経験し、個人も企業も投資リスクを避けるようになった。政府は規制改革をするなどしてビジネス機会を増やし、個人と企業のお金が活発に動くようにするべきだ。

日本経済が活力を取り戻す上で、お金の役割について、あなたの意見を述べなさい。

まず、どうあるべきかという結論を書き、次にその結論を導き出すに至った理由を具体的な事例を組み入れて論述し、最後にもう一度結論を書いてまとめること。

## 《マス・コミュニケーション学科》

### 【1期】

新型コロナウイルスが社会に与えた影響は甚大である。日本では感染が拡大した 2020 年以降、あらゆる行動が制約を受けている。その一方で感染予防のための行動制限は、人々が新しい働き方などを模索するきっかけにもなった。コロナ禍によって社会に起きた変化のうち、感染流行の収束後も残した方がいいとあなたが思う事柄について、理由とともに論述しなさい。

### 【2期】

厚生労働省によると、2020 年の出生数 84 万 382 人は、1899 年の調査開始以来最少である。政府は人口減少に歯止めをかけようと、少子化社会対策大綱を閣議決定したが、その効果は表れていない。少子化によって生じる弊害を理由とともに一つ挙げ、可能な改善策を論述しなさい。

## 《情報文化学科》

### 【1期】

情報通信技術が発展し、様々な SNS が普及する中、コミュニケーションを取るうえでどのような点に注意すべきでしょうか。あなたの考えをまとめなさい。

### 【2期】

コロナウイルス感染拡大防止のために、情報技術をどのように活用すべきでしょうか。またその際にどのような点に気を付けるべきでしょうか。あなたの考えをまとめなさい。

## 《こどもコミュニケーション学科》

### 【1期】

保育者として欠かせない資質とはどのようなものだと考えますか。また、将来、保育者として働くことになった場合、どのようなことを大切にして働きたいと思いますか。自分の考えを述べなさい。

### 【2期】

幼児教育における季節行事の重要性についてどのように考えていますか。例を挙げて具体的に述べてください。また、その重要性を踏まえて、将来、どのような保育者になりたいと思いますか。自分の考えを述べなさい。